

馬が決めた境界線

石岡市

昔、竜神山の北東に石岡市と八郷町の境界があった頃、このあたりで境界争いが起きました。

大切な土地のこととあって、村人たちは互いに譲らずにらみ合いが続いていました。お互いに昔の地図を出したり、長老たちの意見を聞いたりしましたが、誰一人として自信を持って「これが正しい境界だ」と言えるものがいなかったのです。

手を尽くしてもまとまらず、どちらの村役人たちもお手上げでした。

ある時、林村(旧八郷町)側の名主が、「馬は正直だから、手綱を取らずに歩かせれば両方の村の境界を歩くに違いない。だから、その足跡を境界にしよう」と提案しました。



府中(石岡市)側も、「鞍を付けず、手綱を使わないなら良いだろう」と提案を受け入れました。

殺気立つ互いの村人が見守る中、手綱を持たずに馬にまたがった林村の名主が、「はいよー」と一声あげて両方の村の境界を駆け抜けました。

すると、見守っていた村人たちから、「うわー、勝った、勝った」とそれぞれ歓声が上がりました。

馬は、まっすぐではなく曲がりくねって走ったので、お互いにそれは相手の村の方へいくんだ分、自分たちももうけたと思ひ込んでしまいました。

こうして、境界が決まってしまえば、元は気のいい両方の村人たちです。夜遅くまで歌ったり踊ったりして、仲良く暮らすようになったということです。

〈出典〉茨城の民話 第一集 日向野徳久編

※掲載事項には、諸説あります。



「運ぶ」を支え、環境と未来をひらく

ISUZU 茨城いすゞ自動車株式会社

本社 / 〒310-0063 水戸市五軒町1-2-5 ☎029-225-1215(大代) <http://www.ibaraki-isuzu.co.jp>